

あま市国際交流協会(Ama City International Association-ACIA)について

あま市を構成する旧3町は「愛知万博」において、フレンドシップ事業のパートナー国としてマリ共和国、ベトナム社会主義共和国、アゼルバイジャン共和国と国際交流を促進し、私たちは、触れたことのない伝統文化に接し、体験を通して多くの発見や驚きと感動をしました。

平成20年5月に、甚目寺町国際交流協会が設立され、国際交流を展開する中、平成22年3月、七宝、美和、甚目寺町の合併にともない名称を「あま市国際交流協会」と改め、あま市と一体の多文化共生の市民推進組織として、地域の国際化の一翼を担っています。

あま市には、平成22年11月現在、17カ国1,547名の外国人登録があります。この多くの外国人に対し、外国人ならではの不便を取り除くため日本語支援、災害対策、医療・生活情報提供、人権擁護等の対応は欠かせません。あま市国際交流協会は、万博のフレンドシップ事業の理念を継続し、外国との交流、国際理解を推進するのみならず、多様な文化背景をもつ外国人と協働し、安心して暮らせるまちづくりを目指します。本協会は、市民が主体となり、皆さまと共に活動を進めたく思いますので、ぜひ活動にご参加下さい

事業の内容

定期的な活動

- ・ ワールドサロンと定例会：どなたでも自由に参加できる集いで、世界料理・日本民芸紹介、外国人相談・情報提供など。
- ・ 日本語教室の運営：外国人対象でボランティア講師が運営、週4コース
- ・ アフリカ音楽（ジェンベ太鼓）教室の運営：子どもが中心の活動。毎月2回活動。

年間の活動

- ・ フレンドシップ国などの理解講座、外国人のための防災講座、夏祭り参加、市民の集い等。
- ・ 国際理解教育支援：小・中学校等へ外国人等人材派遣。
- ・ 情報紙、国際交流ニュースの発行。
- ・ 国際交流ボランティア登録制度〔登録無料〕

あま市国際交流協会の目指すところ

1. 市民と共に国際交流、多文化共生及び国際理解教育を促進し、地域の国際化を推進します。
2. 市民と多様な文化背景を持つ地域の外国人が共に安心して暮らせるまちづくりを推進します。
3. 民族などの異なる人々と互いの文化の違いを認め、対等な立場で教育・文化・スポーツ・産業などの相互交流を促進します。
4. 世界の地域との国際的な友好関係を築き、持続可能な地球環境と世界の平和に貢献します。

設立：平成20年5月11日（旧甚目寺町国際交流協会）

会員：48名 ボランティア登録：60名 団体会員：11団体

顧問 村上浩司あま市長

会長 大角佳生

副会長 近藤博

あま市国際交流協会事務局

〒490-1292 あま市木田戊亥18番地1 あま市企画政策課市民協働係内

